グリーン交悠録

明治・大正・昭和のロマンを昭和・平成につなげる「ロマン会」

本誌主幹
大中吉一

それは政財界を巻き込んだ勉強会から始まった

本誌は来年で創刊54年を迎えますが、そのごく初期、東京に本社を移して間もないおよそ45年前に、私は異業種交流のための勉強会を立ち上げました。当時の日本を築き上げた明治・大正の成功者達のロマンに学ぼうと興した勉強会だったので「ロマン会」と名づけました。

集まってくださったのは、政界からは麻生太郎氏、亀井久興氏、平沼赳夫氏、財界からはジャパンマネージメントサービスの黒石敏正氏、システムスインターナショナルの荒井好民氏、キッコーマンの茂木友三郎氏、紀文の保苧将人氏、日本ビルサービスの浅地正一氏など、当時としても錚々たるメンバーでした。

ホテルオークラにある日本料理店「山里」において毎月1回、「これでいいのか日本」をテーマに、これからの日本をどのような形で考えるかを基本に明治・大正・昭和の成功者を囲んでの寺子屋式の勉強会です。1回目の講師は伊藤忠商事の瀬島龍三氏、2回目の講師は本田技研工業の本田宗一郎氏、3回目の講師は松下電器の松下幸之助氏でした。

ところが徐々に参加メンバーが増え、「山里」では収容しきれなくなったため、築地にあった山本五十六元帥縁（ゆかり）の料亭「小すが」に場を移して、さらに寺子屋方式の勉強会を継続しました。講師にお呼びしたのは新日本製鐵初代社長の永野重雄氏、さらに同社の稲山嘉寛氏と、まさに明治・大正・昭和の日本を作り上げた方達を囲んでの勉強会でした。最終的には200人ほどの陣容となり、当然のことのようにそこからゴルフ会を開催しようということになりました。

夫人同伴のゴルフ会はいつもより会話が弾む

このゴルフ会の第1回は、静岡県袋井市にあるヤマハ総合リゾートの「葛城ゴルフ倶楽部」において開催されたのですが、とかく男性ばかりのゴルフ会が多い中、せっかくならこの政財界のリーダーたちを支える

奥様にもご参加いただこうということで夫人同伴でのゴルフ会として開催されたのです。

およそ30名の夫人同伴参加者の組合せを考えるにあたって、奥様は必ずご主人と別の組でラウンドできるように工夫しました。これが大成功で、政治家と財界の夫人、財界人と政治家の夫人という組み合わせでのラウンドは実に会話が弾みました。2泊3日のイベントだったのでラウンド後は囲炉裏端のある施設を19番ホールとして懇親会を行い、さらなる交流を深めることができました。

ご参加いただいたみなさんから好評を博し、それでは次回も、ということになったのですが、それなら今回のチャンピオンに次回の会場を選んでもらおうということになり、優勝者である宇部興産の当時副社長だった中安閑一氏の次男が、宇部興産のコースを指定。なんと2回目は東京から飛行機を駆っての開催と相成りました。

およそ2ヶ月後、飛行機に乗って宇部まで2泊3日のコンペだったのですが、これが、一緒に旅をするという環境が生まれたことによって、飛行機内での交流も一層深まり、都内で食事をしながらの懇親会では得ることのできない経験ができました。

昼はゴルフ、夜は宇部の美味しいものに舌鼓を打ち、その間に参加者相互の懇親が生まれるという素晴らしい循環で、得難い経験をいたしました。それ以降、毎回の優勝者が次のコースを指定するという慣例が生まれ、日本国内の津々浦々にある名門コースをこの「ロマン会」というゴルフ会で楽しく有意義に巡ることができました。

ロマン会のおもなメンバー（敬称・肩書略）

株式会社紀文食品	保芦将人
キッコーマン株式会社	茂木友三郎
日本ビルサービス株式会社	浅地正一
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	岡崎真雄
株式会社東芝	石坂信雄
システムインターナショナル	荒井好民
ジャパンマネージメントサービス株式会社	黒石敏正
	飛島章
富士ランド株式会社	安欣治
衆議院議員	亀井久興
	麻生太郎
	平沼赳夫
モビリア株式会社	小平進
株式会社モスフードサービス	櫻田彗
株式会社伊藤園	本庄正則

令和の向こうの日本をゴルフを通じて語り合って欲しい

この「ロマン会」のメンバーたちはそれぞれが昭和10年～15年ごろの生まれで、皆さん年齢を重ねてしまいました。その中で我が友人である麻生太郎氏ただ1人は、副総理兼財務大臣として現役で頑張っています。考えてみれば、このロマン会から総理大臣や閣僚が生まれているのです。ロマン会は、皆様に誇ることのできるゴルフ会の1つなのです。読者のみなさんも、ただゴルフをプレーするだけでなく、おおいに意見交換をすることのできる有意義なゴルフ会を実施し、そしてそれをなるべく長く続けることが大切なのです。

いわば19番ホールはあすの日本の未来のためにも重要なのです。令和元年、中国、韓国、北朝鮮、ロシア、さらには欧州でもアメリカでも問題山積です。今こそ日本の存在感を発揮しなければなりません。日本のリーダーたちが、世界の、アジアのなかの日本を見直す格好の機会として、19番ホールを活用していただければと思います。

秋、絶好のゴルフシーズン到来です。ゴルフを通じて仲間が増え、ビジネスが隆盛し、さらに財界人の話に政治家が耳を傾け政治に反映し、ひいては日本経済が好転するという姿が理想です。

ゴルフを通じて明日の日本を考える縁としていただければと念じて止みません。